

受賞者



経済・社会科学賞

マリ・エルカ・パンゲストウ 世界銀行専務理事

証拠に基づく政策改革と開発効果を推進する経済学者

マリ・パンゲストウ氏は、学界、政府、国際機関で30年以上の経験を持ち、国際貿易、投資、及び多国間、地域、国家環境における持続可能な開発問題に取り組んでいる。中国系インドネシア人として初めて政府の閣僚に就任し、貿易大臣としてインドネシアの国際貿易交渉と協力を主導。様々な貿易大臣会合を開始し、WTO、ASEAN、APECでの地域協力促進に積極的な役割を果たした。多くの国際機関の理事会及び特別委員会のメンバーに名を連ね、世界経済及び開発問題について主導的な発言をしており、持続可能な世界経済発展へ貢献してきた。